

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	海北地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
宮崎県・都城市	450006	1	平成21年度～ 平成25年度	平成21年度～ 平成25年度
活性化計画の区域				
海北地区(宮崎県都城市今町)				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B / A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	40.0ha	40.0ha	100%	

(コメント)

目標である「定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保」は、計画していた農業用排水路の整備により、40.0haの目標を達成することができた。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農業用排水施設	農業用排水路	L=2570.0m		都城市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
今町土地改良区	平成21年度	平成25年度	平成26年3月25日	
事業の効果				
農業用排水路を整備することで維持管理の安全性向上・労力節減と作物、農用地、農業用施設等の被害軽減が図られ、農業の発展に寄与した。				

3 総合評価

(コメント)

本事業により農業用排水路が整備されたことから、維持管理費と労力の大幅な軽減を図ることができ、営農条件が大きく改善された。その結果、減衰傾向であった営農意欲が向上し、担い手の育成や農地の保全、地域の活性化も図られた。

4 第三者の意見

(コメント)

本地区の水田40haをかんがいしている幹線用水路は、ほとんどが土水路であり、維持管理費の増大や水路崩壊の危険にさらされてきた。今回の用排水路の整備により、維持管理のための労力とコスト節減につながり、乾田化による収量の安定、ハウス施設の増大、ブロックローテーションによる土地利用型農業の展開など、新たな地域農業の展開と更なる地域活性化が期待される。

(九州大学大学院農学研究院 教授 福田 晋)

【 記入要領 】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果(農山漁村の活性化に関連する効果)を幅広く記入すること。